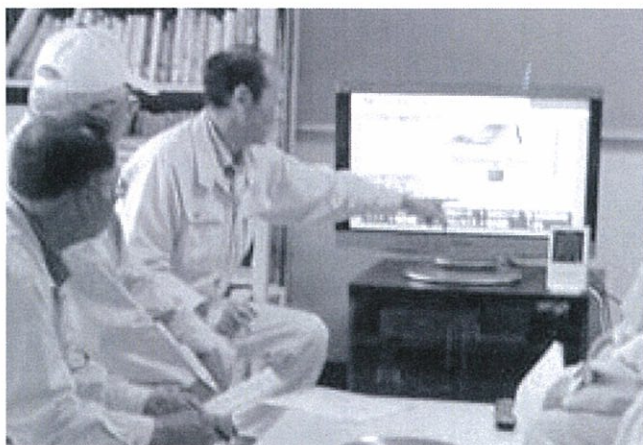


町内25カ所の地区センターに整備された太陽光発電設備（江刈農村センター）



発電量は地区センターのテレビで確認



発電した電気は蓄電池に充電し、災害時等に活用



身近な住民要望の解決を

輝くふるさと常任委員会

工事箇所などを視察

三楽子から江刈小屋瀬に通じる林道沿ノ平線を視察する議員

【主な意見】

- ◇未発注の工事は、早期の着工を心掛けて欲しい。
- ◇町で発注する工事は、冬期間の施工が多いように思われることから、発注から施工までのチェック機能を含め、工事時期の適正化を図って欲しい。
- ◇災害復旧については、施工箇所の近隣が後に災害で崩れることもあり、流域全体の改良を含めた工事を検討して欲しい。
- ◇除雪等によりグレーチングが破損したり、路盤や橋に穴が開いているなど既存道路の管理や補修等が思わしくない箇所が見受けられるので、河川や道路のパトロールを町内業者に委託するなど、修繕箇所の早期発見・工事を行う体制づくりを今後の研究課題として欲しい。

道七滝線では「脇を流れる沢の所々に流木が滞留し、二次災害が心配されるので、総合的な対策が望まれる」と意見が出されました。

また、2日目の視察終了後に行われた情報交換会では、葛巻まち・みちづくりや砂防事業、道路事業などの県営工事について説明を受けました。その後の意見交換では、町中心部国道のオーバーレイ（表層の一部を削り、舗装し直す）や温度計の設置、平庭トンネル、主要地方道一戸葛巻線などに関する意見が活発に交わされました。



岩手土木センターと町議会の意見交換会（プラトリー）

主な視察箇所は、昨年9月の台風15号の大雨による災害復旧工事の予定箇所、今冬の異常低温で道路がひび割れし、今後補助金の申請を予定する箇所や、23年度に整備された地区センターの太陽光発電施設などです。

初日は、町中心部と江刈、星野方面25カ所の現場を視察。このうち、新たに認定された町道茶屋場田子線のうち、元町橋付近から役場裏の馬淵川堤防区間は「パイパス機能を持たせるような広さでの整備の検討を」、町道宝積寺線と鴨川線は「さらなる改良の延長が必要では」などの意見が出されました。

翌日は、田部、小屋瀬・吉ヶ沢方面の現場22カ所を視察。町



道路の切り替えにより、出入しやすくなった小屋瀬塚森線

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は6月6日と7日、平成23年度に完了した事業と24年度に計画している事業の工事箇所などを視察しました。

また、2日目の視察終了後に、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター（今野政和所長）と「県営工事等についての情報交換会」をプラトリーで開催し、活発な意見交換を行いました。